

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あんプラス三ノ輪		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 30日		～ 2024年 10月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		～ 2024年 10月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々なプログラムを用意している	平日の集団活動では集団遊びやボードゲームを活用し、学習だけではカバーしきれない認知機能や集団への参加の仕方などを実践的に学べるよう取り組んでいます。土曜イベントでは、毎週の調理をはじめ工作・運動といった粗大運動・微細運動やお出かけ等の社会的ルールを学べるプログラムを用意しています。	同じようなプログラムばかりにならないよう、新しいプログラムを取り入れたり、今までのプログラムを改良しより子どもたちが楽しみながら成長していけるようなプログラムを用意してまいります。
2	子どもが安心して通える場所である	子どもと接する際には、ルールや活動を押し付けることがないよう受容的な態度を心がけています。子どもの気持ちや状況を聞いた上で課題や活動内容を調整し、参加しやすい活動形態を一緒に考えています。	子どもが自分の意見を受け入れてくれるという安心感を持ちながら成長に向けて課題や活動に挑戦していけるよう関わってまいります。
3	年齢に応じた支援を行っている	プログラムの中で小学生・中学生を分け、小学生に対しては基礎的な指導を中心に行い、中学生に対してはより実践的な指導を行っています。また、中学生SSTを通じて社会的なルールや余暇の過ごし方を学び、仲間と共に過ごす楽しさを感じられるよう支援しています。	小学生に向けたプログラム内容を見直し、楽しみながら集団に参加していけるよう努めてまいります。また、中学生に対しては様々な体験をもって自立心を養うとともに、小学生と合同で活動する際はリーダーシップを持てるよう支援してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的な面談・子育て等への助言について	面談や相談の機会についてのお知らせが遅くなってしまったり、普段からのご報告が少なくなってしまうなど皆様と直接お話をする機会が十分に設けられていない状況になっています。	面談について余裕をもってお知らせを行うとともに、連絡帳以外にもお迎えのタイミング等で子どもの状況をお知らせし、相談していただきやすいよう体制を整えてまいります。
2	相談・申し入れへの対応について	ご相談いただいた内容やお伝えいただいた課題への希望について、職員間の周知が不十分な部分があり、日々の課題へうまく反映されていない状況があります。	日々のミーティングや情報共有の方法を検討し、保護者からの要望を全職員が把握できるよう努めてまいります。また、子どもの状況に合わせて確実に課題へ反映してまいります。
3	父母会や家族支援プログラムについて	これまで父母会のご要望をいただいたことがなく、保護者が参加できるようなイベントや保護者向けの説明会等はあまり行ってまいりませんでした。	今後、子どもの活動の様子をご覧いただけるイベントや保護者に向けた説明会等、保護者向けの活動を検討してまいります。